

Br. Holdings Report



第17期 年次報告書

2018年4月1日~2019年3月31日

「人と人」「技術と技術」の橋渡し

欧州統一通貨ユーロ紙幣に描かれている

コミュニケーションを象徴する「Bridge」

ビーアールホールディングスは未来への架け橋を創る企業技術集団を擁する

ホールディング・カンパニーとして、企業価値の最大化、資本効率の更なる向上を

目指すとともに、技術で社会に貢献する企業グループとして、

これからもたゆまめ努力をし続けます。



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第17期の決算(2018年4月1日から2019年3月31日)が終了しましたので、当社グループの業績及び事業活動の概況をとりまとめご報告いたします。

①当社グループの期末時点手持高は48,514百万円と過去最高となりました。

当期受注高が36,032百万円と前年(37,451百万円)から3.8%減とわずかながら減少しましたが、期末時点手持高が48,514百万円と前年(40,929百万円)を18.5%上回り過去最高を更新しました。売上高に関しては、27,333百万円と前期(23,669百万円)から15.5%増加いたしました。一方、キョクトウ高宮株式会社の工場改修に伴う稼働率の低下等により経常利益は1,415百万円と前年(1,632百万円)から13.3%減、親会社株主に帰属する当期純利益は741百万円と前年(1,025百万円)から27.7%減と、一時的に減少した結果となりましたが、来期の配当は年間8円と4年連続の増配を見込んでおります。

②生産性向上への取り組み

当社グループは、土木用プレキャスト製品需要拡大に伴い、「省人化・省力化」及び「品質向上」を加速させるとともに、持続的な成

長及び収益拡大を目的として、極東興和株式会社の各工場でPC床版製造ラインの増設などを実施してまいりました。来期以降は更なる需要の拡大が見込まれるため、主に建築用2次製品の製造を行ってまいりましたキョクトウ高宮株式会社の高宮工場を大幅に改修し、今後の土木用プレキャスト製品の需要拡大に対応しております。

③担い手確保のための取り組み

当社グループは、技術者の安定的な確保を目的として、職員は65歳を超えても在籍可能とする環境を整備するとともに、5年以上前から経験豊富な技術者をACE(Advanced Civil Engineer)として常時中途採用しております。また、教育機関との研究開発を通じて、工学博士や技術士を育成するとともに、優先的に新卒採用を実施してまいりました。

④働き方改革への取り組み

当社グループは、令和の時代も引き続き職員の働きやすい環境づくりに積極的に取り組み、ワークライフバランスの確保に努めます。今後ともより多くの株主の皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいりますので、引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月



Profile

株式会社ビーアールホールディングス
代表取締役社長
藤田 公康
(1950年9月9日生)

藤田 公康

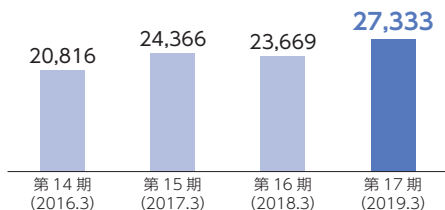
- 1974年 慶応義塾大学法学部 政治学科卒業
- 1976年 ハートフォード大学 経営学部修士課程卒業(MBA)
- 1976年 大塚製薬株式会社入社 企画課長
- 1981年 極東工業株式会社(現極東興和株式会社)入社
取締役社長室長
- 1985年 同社代表取締役社長
- 1993年 同社代表取締役会長
- 2002年 当社取締役
- 2005年 当社代表取締役社長(現任)
<兼職>
- 1988年 (社)広島青年会議所 理事長
- 1990年 (社)日本青年会議所 会頭
- 2015年 極東興和株式会社 代表取締役社長

業績ハイライト

Results Highlights

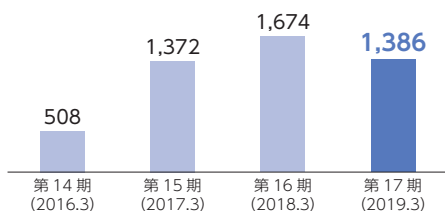
売上高

(百万円)



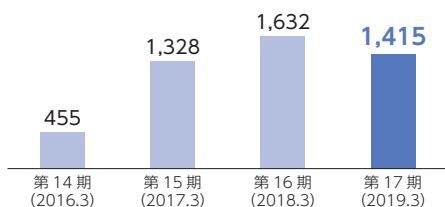
営業利益

(百万円)



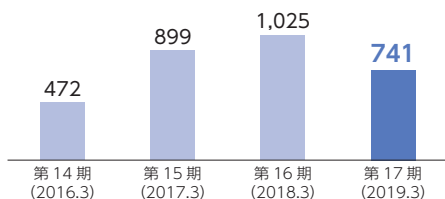
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



セグメント別の状況

建設事業

橋りょう土木工事の設計・施工

売上高
246億47百万円

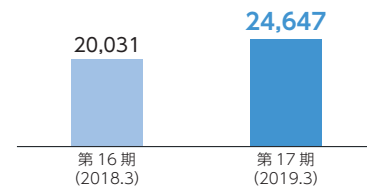
前年同期比
23.0%増



建設事業におきましては、高速道路会社の大規模更新事業である床版取替工事の大型物件の受注、鉄道建設・運輸施設整備支援機構の橋梁新設工事の増額契約等があったものの、大型受注が減少したため、当連結会計年度の受注高は322億31百万円(前年同期比3.7%減)となりました。一方、手持工事の進捗が進み売上高は246億47百万円(前年同期比23.0%増)、セグメント利益は25億63百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

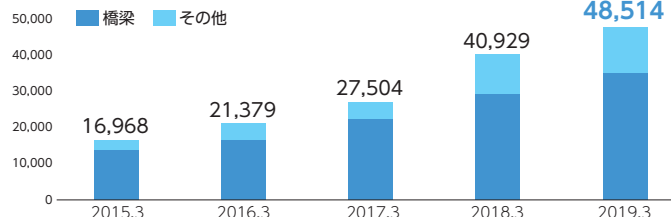
建設事業／売上高

(百万円)



(注) セグメント間取引を含めております。

○手持高(建設事業)の推移 (百万円)



製品販売事業

コンクリート二次製品の販売

売上高
24億13百万円

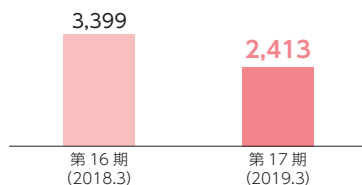
前年同期比
29.0%減



製品販売事業におきましては、建築部材製造ラインの見直しを実施することによる選別受注の実施から、当連結会計年度の受注高は32億52百万円(前年同期比6.3%減)、売上高は24億13百万円(前年同期比29.0%減)、工場生産量低下により固定費の回収が遅れ、セグメント損失は2億3百万円(前年同期 セグメント利益97百万円)となりました。

製品販売事業／売上高

(百万円)



(注) セグメント間取引を含めております。

情報システム事業

システム開発・販売

売上高
3億66百万円

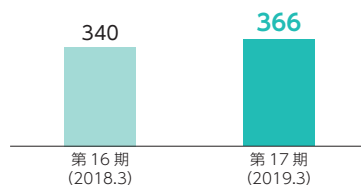
前年同期比
7.5%増



情報システム事業におきましては、当社グループのシステム機器更新等により、当連結会計年度の売上高は3億66百万円(前年同期比7.5%増)となりました。一方、採算性の高い請負開発型の受注が減少し、セグメント利益は0百万円(前年同期比84.0%減)となりました。

情報システム事業／売上高

(百万円)



(注) セグメント間取引を含めております。

不動産賃貸事業

当社ビルのマンション賃貸運営等

売上高
1億83百万円

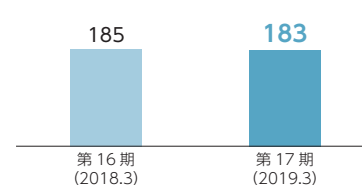
前年同期比
0.8%減



不動産賃貸事業におきましては、当社保有の極東ビルディングにおいて、事務所賃貸並びに一般店舗・住宅の賃貸管理のほか、グループ会社の拠点として、当社が一括して賃借した事務所を各グループ会社に賃貸しており、安定した売上高を計上しております。当連結会計年度の売上高は1億83百万円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益は1億24百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

不動産賃貸事業／売上高

(百万円)



(注) セグメント間取引を含めております。

Topics 1

八本松ICランプ橋

極東興和株式会社

八本松ICランプ橋は、東広島市八本松町から安芸郡海田町に至る延長17.3kmの東広島・安芸バイパス事業の起点側に位置し、県道志和インター線へと接続するOFFランプ橋です。当バイパスは、慢性的な交通渋滞が発生する東広島市～広島市間の国道2号の交通混雑の緩和や、積雪・交通事故等の通行止めによる迂回路としての役割を担います。2018年1月より施工に着手し、途中7月の広島豪雨災害時には寸断された現場周辺道路の早期開通のため、工事を一時中断し復旧作業に従事しました。また地域道路の清掃や近隣の大学生を対象とした現場見学会を催すなど地域貢献活動も積極的に行いました。



Topics 2

東深瀬1号高架橋

極東興和株式会社



東深瀬1号高架橋は、国道475号東海環状自動車道の内、岐阜県山県市東深瀬に架かる橋梁で愛知県豊田市を起点とし、三重県四日市市に至る延長160kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。本工事は、中京圏の放射状道路ネットワークの構築を目的とし、環状道路内の渋滞緩和や沿線周辺の地場産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能が期待されています。

工事期間中は、地域住民とのコミュニケーションを円滑に行うため、地域行事への参加、現場見学会の開催等を実施しました。また、働き方改革に関する取り組みとして、完全週休2日制の実施、女性技術者の配置及び快適トイレ設置等を行いました。

Topics 3 高家川橋

極東興和株式会社

本工事は、国土交通省東北地方整備局発注の政府調達（WTO）案件であり、東日本大震災復興の象徴である国道45号バイパス三陸沿岸道路（通称：復興道路）の北端に位置する洋野階上道路の一環として架橋した工事です。地上高43m最大支間126mと難易度の高い橋梁であることに加え、二級河川高家川、町道中野高家橋線、JR八戸線と交差条件の多い橋梁でした。岩手県の東北端に位置し、冬期は気候条件の非常に厳しい施工となりましたが、現場職員・協力業者が一体となり無事工事を完成させることができました。



Topics 4 南鍛冶町上部工

東日本コンクリート株式会社

南鍛冶町上部工その3・その4工事は、宮城県仙台市が整備を進める都市計画道路の橋梁工事で、仙台駅から南東約1kmに位置しています。この2つの工事で使用された合計105本のPC桁は当社グループの東日本コンクリート株式会社巨匠PC工場で作製した後に現地に搬入し、200t吊クローラークレーンを使用し架設しました。現地は多くの住宅や公共施設が密集している市街地であるため、砂埃や騒音等で近隣に迷惑を掛けないよう細心の注意を払い施工しました。



Topics 5

屋島大橋

極東興和株式会社

屋島大橋は、源平合戦の屋島の戦いの舞台となった檀ノ浦に近接する香川県高松市の北東部を流れる相引川に架かる橋で、市内の東西を結ぶ要衝として緊急輸送道路に指定されています。

本工事は、屋島大橋の橋台と橋脚の補修を行うもので高松市役所より2016年度から3年連続で発注されました。いずれの工事においてもコンクリートのアルカリ骨材反応対策として、当社のK-LIP工法が採用されています。当工法は、亜硝酸リチウムというアルカリ骨材反応を抑制する効果のある薬剤を特殊な圧入機を用いてコンクリートに削孔した穴から注入・拡散する工法です。



Topics 6

和田津橋補修工事

極東興和株式会社

和田津橋(徳島県小松島市)は、1940年に竣工した鉄筋コンクリート橋です。竣工から79年が経過した現在も地域に欠かせない生活道路として活躍しており、これまで7回の維持補修工事を繰り返してきました。



今回の工事は、橋梁全体をリニューアルするというこれまで行われた補修工事の中でも最大規模のもので、鉄筋コンクリート桁の塩害及び中性化対策に有効な当社のK-LIP工法が採用されました。

CSR

耶馬溪7号橋 ～環境対策・地域貢献～

極東興和株式会社

耶馬溪7号橋は大分県中津市から日田市を結ぶ地域高規格幹線道路中津日田道路で、耶馬溪町大島地区の金吉川に架かる橋梁です。本工事では発注者からの早期完成の要望に応えるため、主桁組立及び架設方法を変更し、工期を57日間短縮することができました。施工中は、河川に生息するアユ等の生態系に悪影響を及ぼさないように、足場上にはゴム系シート及び防護シートの二重張りを行い、集めた水のPH値を測定し、安全性を確認した後に河川に放流するなど、環境面にも細心の注意を払いました。また、橋面を巨大なキャンパスに見立てた落書き大会には、地元小学校の全校児童が参加し、児童の思いづくりをサポートし、地域社会に貢献をすることができました。

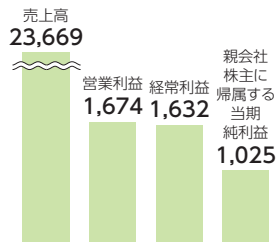


連結損益計算書

前連結会計年度

2017年4月1日～2018年3月31日

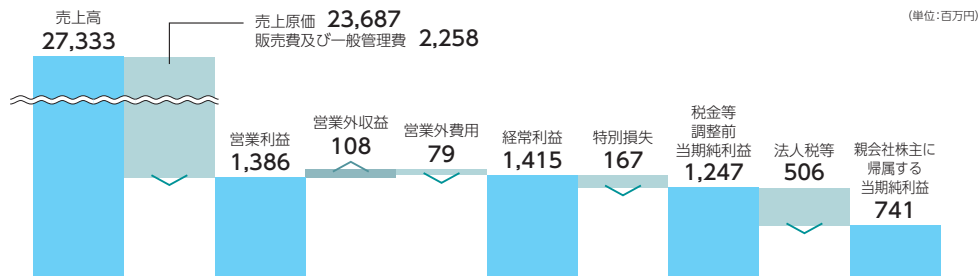
(単位:百万円)



当連結会計年度

2018年4月1日～2019年3月31日

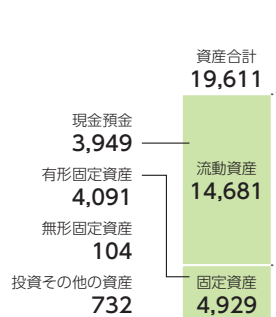
(単位:百万円)



連結貸借対照表

前連結会計年度末

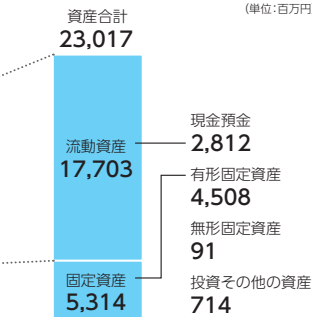
2018年3月31日現在



当連結会計年度末

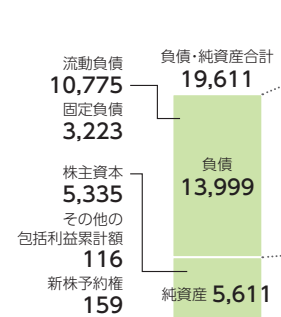
2019年3月31日現在

(単位:百万円)



前連結会計年度末

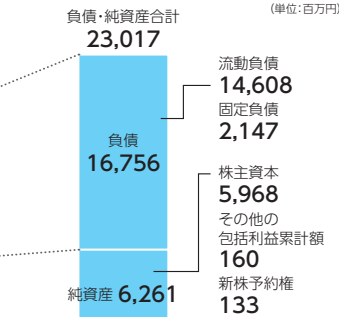
2018年3月31日現在



当連結会計年度末

2019年3月31日現在

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

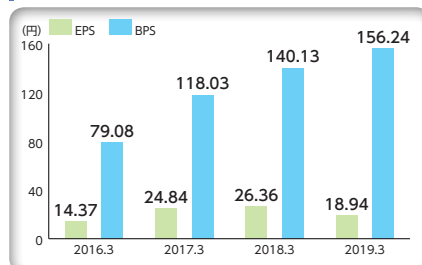
当連結会計年度

2018年4月1日～2019年3月31日

(単位:百万円)



1株当たり 当期純利益 (EPS)、純資産額 (BPS)



(注) 当社は、2016年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産額」を算定しております。

会社概要

(2019年3月31日現在)

商号	株式会社 ビーアールホールディングス Br.Holdings Corporation
設立	2002年9月27日
本社所在地	広島市東区光町二丁目6番31号
電話	082-261-2860(代表)
資本金	3,017,041,000円
決算期	3月31日
従業員数	11名(連結550名)

代表者及び役員

(2019年6月21日現在)

代表取締役社長	藤 田 公 康
取締役	山 根 隆 志
取締役	山 縣 修
取締役	石 井 一 生
取締役	天 津 武 史
取締役・常勤監査等委員	田 坂 昌 博
取締役・監査等委員(社外)	小 田 清 和
取締役・監査等委員(社外)	佐 上 芳 春

グループの概況

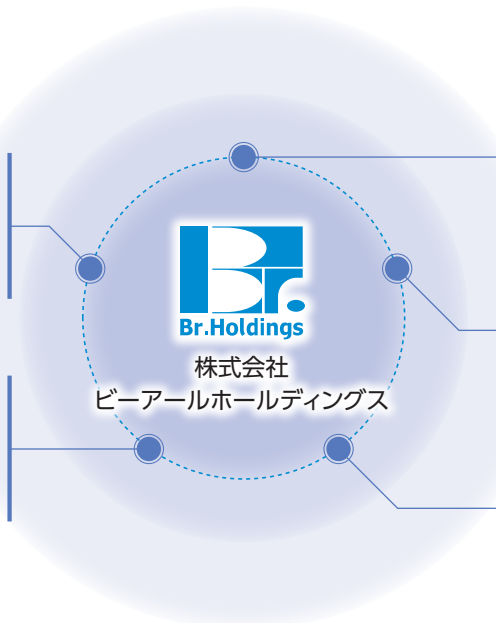
(2019年3月31日現在)

極東興和株式会社

本社所在地/広島市
事業内容/PC構造物の設計・施工
PC及びRC製品の設計・製造・販売等
コンクリート構造物の診断・補修・補強等

東日本コンクリート株式会社

本社所在地/仙台市
事業内容/PC構造物の設計・施工
PC及びRC製品の設計・製造・販売等
コンクリート構造物の診断・補修・補強等



キョクトウ高宮株式会社

本社所在地/広島市
事業内容/PC製品及びコンクリート二次製品の
設計・製造・販売・施工等

ケイ・エヌ情報システム株式会社

本社所在地/広島市
事業内容/ソフトウェアの設計・開発及び販売等

豊工業株式会社

本社所在地/大分市
事業内容/PC及びコンクリート二次製品の
製造・販売等

株式の状況

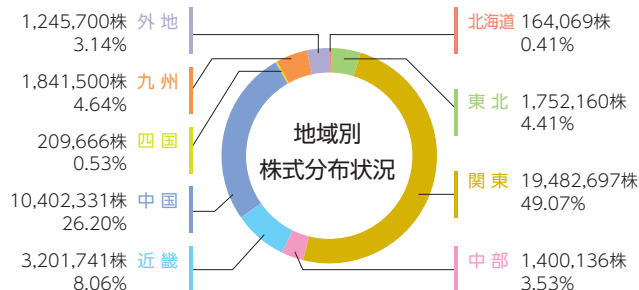
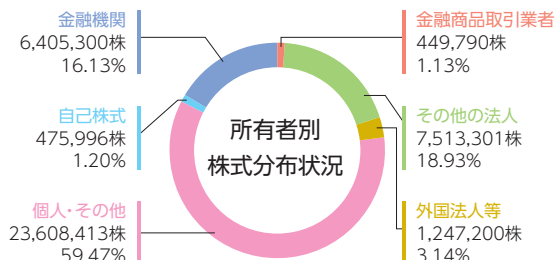
(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数……………120,000,000株
 発行済株式の総数……………39,700,000株
 株主数……………33,705名

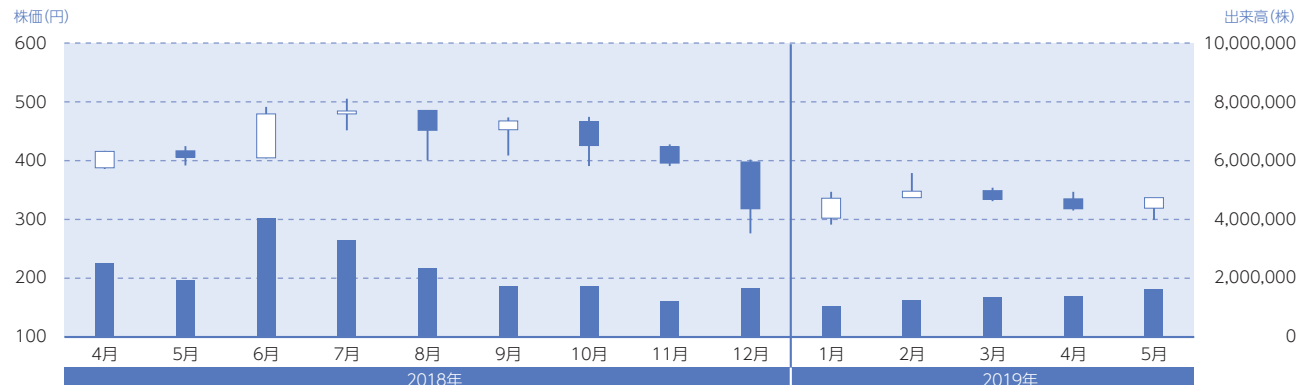
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トウショウ産業株式会社	4,800	12.24
藤田 公 康	2,735	6.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,076	5.29
ビーアールグループ社員持株会	1,198	3.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,157	2.95
広成建設株式会社	988	2.52
ビーアールグループ取引先持株会広島支部	976	2.49
ビーアールグループ取引先持株会大阪支部	842	2.15
株式会社三菱UFJ銀行	800	2.04
遠藤 祐 子	703	1.79

(注)持株比率は自己株式(475千株)を控除して計算しております。



株価の推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第1部)
公告の方法	電子公告により行う。 当社ホームページ (https://www.brhd.co.jp/ja/ir/announce.html)にて掲載。 (ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

表紙写真について

全国各地の高速道路老朽化に伴い、床版はRCからPCへ取替作業が進んでいます。当社では、保有する5工場のPC床版製造ラインへの設備投資を活発に行い、需要拡大が見込まれる大規模修繕事業に対応しています。山田橋床版取替(中国自動車道)



株式会社 ビーアールホールディングス

広島市東区光町二丁目6番31号 TEL 082-261-2860 FAX 082-261-2861

ホームページ <https://www.brhd.co.jp/>

IR情報を当社ホームページに掲載いたしておりますので、こちらからもご覧ください。

